

2024  
2  
月号

# 県民の森だより



発行

宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801 入園料：無料

〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41

(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

利用時間：4月～10月/9時～16時30分

11月～3月/9時～16時

HPはこちら!

1年で最も寒いこの時期、四季の森からは雪をまとった奥羽山脈の山並みがくっきりと見えます。手前には左側から太白山、右に権現森、中山の観音様、更に手前には仙台市の高層ビル群も見えて雄大な自然と町の活気を一度に感じることができるお勧めスポットです。これから春にかけて自然の移り変わりも楽しめます。空気の澄むこの時期、県民の森の絶景スポットを是非ご堪能ください。(所長：森山稔也)

2月15日から5月17日まで、警備会社の全日警と協同で園内防火巡視を実施いたします。甚大な被害をもたらした1983年の県民の森の火災を教訓に、園内の防火と安全パトロールに努めております。

## 火の用心

乾燥する時期、森林火災は脅威です。園内はすべて火気厳禁、そして禁煙です。ご利用される皆様にも防火にご協力をよろしくお願いたします。

## 『みやぎの森林・林業写真コンクール展』 公益財団法人みやぎ林業活性化基金

2月2日より3月20日まで、中央記念館1階展示ホールにて『第16回みやぎの業写真コンクール展』を開催いたします。



『みやぎの自然に生きる・みやぎの森林のめぐみ・みやぎの森林の温もり』がテーマの作品たちです。

### 県民の森のお勧めスポット～N025～ さんぽみち 鳥と歩く散歩道

かわいい水鳥と小鳥がみられるコースを紹介します。サクラ見本園の駐車場に車をとめます。そのまま県民の森の散策路に入り→スピーカー(ルリビタキや暗めの環境を好む小鳥類)→カツラの木→鳥の看板→どんどん細い散策路を歩きます。橋を渡り看板の所にでたら、左手に曲がると沼の間を抜けて駐車場に戻ります。ぬかるみや木の橋が滑るので雨上がりは十分ご注意ください。

このコースがかなりの鳥の種類を観察でき、ゆっくり楽しめるポイントです。人が歩くことが少ない場所もあり、鳥以外にも昆虫や鱗翅目も観察することができます。

冬の楽しみはカモ類です。水鳥たちのもふもふ感が寒さをやわらげてくれます。ただし、池が凍ってしまうと見られなくなるのでご注意ください。笹藪内には今の季節はベニマシコ、林の中には猛禽類、キツツキの仲間、サギ類が隠れていることもあります。じっくり鳥を観察するには最高の場所です。藪や谷間は私たちの姿も隠してくれるのでそっと鳥を観察できます。

スピーカー  
2 3  
カツラ  
鳥の看板  
6 P サクラ見本園  
13  
看板  
ルリビタキ  
ベニマシコ  
ヒヨドリの巣  
ウモンスズメ  
クロアゲハ  
イラガの繭  
マツカレハの幼虫  
マガモ  
アオサギ  
野鳥クラブ マユガラ

# ◆ 中央記念館◆コーナー vol.10～自然のおもちゃ箱～

中央記念館の小ホールとキッズコーナーの仕切りの所に展示コーナーが3カ所あります。模様替えをして、県民の森の中の小さな自然あれこれコーナーを作ってみました。

これから、どんどん充実させていきたいと思っています。



キビタキの若鳥の羽根標本



冬の時期、たくさんみかける羽化したガの繭

時々模様替えもする予定なので、お立ち寄りの際はのぞいてみて下さい！



## 今月のスタッフがみつけたしぜんのおもちゃ箱 けんみんのもり写真館

アトリ (スズメ目アトリ科) 花鶏



冬のたよりが聞こえて来る頃にユーラシア大陸北部などからシベリア経由で渡ってくる冬鳥。

スズメより少し大きめの約16cm。灰黒色とオレンジがかった褐色、白のコントラストが鮮やか。尾羽の先が魚の尾のような形も目印。

木の実や芽、草の種などを食べて冬を過ごします。木々の間を群れで移動しながら「キョッキョッ」と鳴き交わす声で見つけられます。

雪の降った寒い日は、中央記念館の近くにもやってきて楽しませてくれますよ。(絵:秀・文:もち)



ソシンロウバイ (ロウバイ科) 素心躑躅 植栽

厳寒の中であたたかな光をともしようなぬくもりと、春を予感させる陽だまりのような優しい香りが辺りを包んでいました。よく見ると蠟細工のように輝く半透明の花がうつむき加減に恥じらいながら咲いていました。

ソシンロウバイは花全体が黄色のロウバイの一品種です。冬の寒い時期に咲く「雪中四友」のひとつです。また「四大香木」のひとつで、石鹸のような清潔感のある甘い香りがします。

ロウバイの香りの主な成分は、「シオネール」「リナロール」「ボルネオール」の3種類で、化粧品や香水の原料としてもよく使われています。英名はウインターズウィートです。

県民の森に隣接する『宮城県 ENEOS の森』に植栽されていますので、散策がてら探索されてみては如何でしょうか。(片岡)



センダン 別名オウチ (ニガキ科) 梅檀 植栽

名前は諸説あり一定しません。果実の付き方が数珠のように見える千珠(せんだま)の説や、実が沢山付いた様子を千団子(せんだんご)、などの説があります。

丁度この時期、たわわに実っている果実を見ると名前の由来、納得です。

“センダンは双葉より芳し”の諺は香木のビャクダンのこと。本種には芳香はないです。果実はヒヨドリなどの鳥類の好物ですが有毒なサポニンを含み、ヒトが食べると嘔吐、胃炎、激しい腹痛など重篤な症状を引き起こします。(毒毒植物図鑑、南方新社)

花期 5～6月 (駒野)

